

学生の海外派遣「名古屋経済大学2025年度海外研修・留学プログラム」

1. 海外研修・留学プログラムの趣旨・目的

- 本学では、将来ビジョンの一つに「地域に密着したグローバル人材の養成」を掲げています。
- 海外研修・留学プログラムは、「グローバル人材の養成」のために必要な海外経験を提供する重要なプログラムとして、拡充してきました。
- 2025年度には4カ国(カナダ、マレーシア、フィリピン、韓国)4つの海外研修・留学プログラムを提供しました。

2. 海外研修・留学プログラム内容(2025年度)

(1)カナダ短期語学研修(夏季:7月)

- 研修先は University of Calgary (カルガリー大学)の School of Continuing Education(継続教育部門)が直接管理する English Language Program です。
- 2025年度より、現地派遣での研修プログラムとなりました。
- 夏季プログラム(7月開講)には1名の学生が参加しました
- 参加学生は、本学で定める一定の条件に基づいて、本学から留学支援金を受けました。

(2)カナダ短期語学研修(夏季:8月)

- 研修先は University of Calgary (カルガリー大学)の School of Continuing Education(継続教育部門)が直接管理する English Language Program です。
- 夏季プログラム(8月開講)には3名の学生が参加しました。
- 参加学生は、本学で定める一定の条件に基づいて、本学から留学支援金を受けました。

(3)マレーシア短期語学研修(夏季)

- 研修先はアジア太平洋技術革新大学(APU)の附属語学教育機関であるアジア太平洋語学センター(Asia Pacific Language Centre)です。
- センターが実施する英語集中プログラム(IEP)はリーディング、ライティング、リスニング、スピーキング、個別会話など計102時間で英語を集中的に学ぶもので、参加学生は受講者の英語力に応じて6段階のレベルに分けられたクラスで少人数による授業に参加しました。
- 参加学生は1名でした。
- 参加学生は、本学で定める一定の条件に基づいて、本学から留学支援金を受けました。

(4)フィリピン短期語学研修(夏季)

- 研修先は、フィリピン・ネグロス島のバコロド市にあるセント・ラサール大学附属語学センター(LSLC)です。同大学は名門デラサール大学の姉妹校であり、教育・研究機関として国内外から高く評価されています。
- 2025年度より、現地派遣での研修プログラムとなりました。
- 研修は2週間コースと4週間コースがあり、今回は2週間コースに1名が参加しました。
- マンツーマン授業とグループ授業、また異文化理解ができる課外活動にも参加しました。
- 参加学生は、本学で定める一定の条件に基づいて、本学から留学支援金を受けました。

(5) 韓国短期語学研修(夏季)

- 研修先は韓国の漢陽大学でソウルとアンサンに2つのキャンパスを持つ韓国の私立大学です。工学や建築学の分野をはじめとして海外から高い評価を受けています。
- 2025年度より、現地派遣での研修プログラムとなりました。
- 韓国語の授業のほか、文化体験の授業にも参加しました。
- 参加学生は2名でした。
- 参加学生は、本学で定める一定の条件に基づいて、本学から留学支援金を受けました。

(6) カナダ短期語学研修(春季)

- 研修先は University of Calgary (カルガリー大学) の School of Continuing Education (継続教育部門) が直接管理する English Language Program です。
- 2025年度より、現地派遣での研修プログラムとなり夏季に引き続き2名の学生が参加しました。
- 参加学生は、本学で定める一定の条件に基づいて、本学から留学支援金を受ける予定です。

(7) フィリピン環境スタディツアー(春季)

- 本プログラムは、フィリピン・ネグロス島のバコロド市にあるセント・ラサール大学附属語学センター (LSLC) との連携のもと、コミュニケーションを中心とした英語の研修をしながら、現地の自然に触れ、環境や気候変動を考える研修プログラムです。
- 2025年度春季より、現地派遣での研修プログラムとなりました。
- 参加学生は4名で、現地のマングローブ林や農園などを訪問した。
- 参加学生は、本学で定める一定の条件に基づいて、本学から留学支援金を受ける予定です。

3. 海外研修・留学プログラムの説明会(2025年度)

日時	内容
3月 5日	海外研修・留学プログラム募集案内(メール配信)
4月21日	海外研修・留学プログラム全体説明会
4月22日	フィリピン・セント・ラサール大学留学説明会
4月23日	韓国・漢陽大学留学説明会
4月25日	海外研修・留学プログラム全体説明会
9月26日	海外研修・留学プログラム全体説明会
9月29日	フィリピン環境スタディツアー説明会
9月30日	ベトナム経済・社会研修説明会
10月 1日	海外研修・留学プログラム全体説明会・フィリピン環境スタディツアー説明会

注1) 上記以外に2025年6月に全学部の1年次ゼミナールで海外研修・留学プログラムを紹介。

4. 海外研修・留学プログラムの参加者数(2025年度)

(1)カナダ短期語学研修(夏季:7月)

全体数	日本人学生数	外国人学生数	外国人留学生数
1	1	0	0

注2)外国人学生とは、「留学」の在留資格以外の学生を指します(以下、同様)。

注3)外国人留学生とは、「留学」の在留資格の学生を指します(以下、同様)。

(2)カナダ短期語学研修(夏季:8月)

全体数	日本人学生数	外国人学生数	外国人留学生数
3	3	0	0

(3)マレーシア短期語学研修(夏季)

全体数	日本人学生数	外国人学生数	外国人留学生数
1	1	0	0

(4)フィリピン短期語学研修(夏季)

全体数	日本人学生数	外国人学生数	外国人留学生数
1	1	0	0

(5)韓国短期語学研修(夏季)

全体数	日本人学生数	外国人学生数	外国人留学生数
2	2	0	0

(6)カナダ短期語学研修(春季)

全体数	日本人学生数	外国人学生数	外国人留学生数
2	2	0	0

(7)フィリピン環境スタディツアー(春季)

全体数	日本人学生数	外国人学生数	外国人留学生数
4	4	0	0

5. 海外研修・留学プログラムの事前・事後研修(2025年度)

(1)カナダ短期語学研修(夏季7月)

日時	項目
3月27日(木)	研修参加の心構え
5月15日(木)	留学に向けての英語勉強法 Let's Speak English! 実践英会話 eTA の手続き
5月19日(月)	カナダの歴史と社会
5月28日(水)	海外での生活で気を付けること 海外での危機管理、保険について
6月25日(水)	TOEIC 試験

(2)カナダ短期語学研修(夏季8月)

日 時	項目
6月 4日(水)	研修参加の心構え
7月 1日(火)	カナダの歴史と社会 カナダ多文化共生研修について
7月 2日(水)	留学に向けての英語勉強法 Let's Speak English! 実践英会話
7月 8日(火)	海外での生活で気を付けること 海外での危機管理、保険について
7月11日(金)	eTA の手続き
7月23日(水)	TOEIC 試験

(3)マレーシア短期語学研修(夏季)

日 時	項目
6月 4日(水)	研修参加の心構え
7月 2日(水)	留学に向けての英語勉強法 Let's Speak English! 実践英会話
7月 7日(月)	マレーシアの歴史と社会
7月 8日(火)	海外での生活で気を付けること 海外での危機管理、保険について
7月23日(水)	TOEIC 試験

(4)フィリピン短期語学研修(夏季)

日 時	項目
6月 4日(水)	研修参加の心構え
7月 2日(水)	留学に向けての英語勉強法 Let's Speak English! 実践英会話
7月 8日(火)	海外での生活で気を付けること 海外での危機管理、保険について
7月10日(木)	フィリピンの歴史と社会
7月23日(水)	TOEIC 試験

(5)韓国短期語学研修(夏季)

日 時	項目
6月 4日(水)	研修参加の心構え
7月 8日(火)	海外での生活で気を付けること 海外での危機管理、保険について
7月10日(木)	韓国の歴史と社会 留学に向けての韓国語勉強法

(6)カナダ短期語学研修(春季)

日 時	項目
10月27日(月)	研修参加の心構え
11月21日(金)	先輩とのお話会
12月12日(金)	海外での生活で気を付けること 海外での危機管理、保険について カナダの歴史と社会 カナダ多文化共生研修について
12月15日(月)	eTA の手続き 留学に向けての英語勉強法 Let's Speak English! 実践英会話
2月 6日(金)	TOEIC 試験

(7)フィリピン環境スタディツアー(春季)

日 時	項目
11月15日(水)	研修参加の心構え
12月12日(金)	海外での生活で気を付けること 海外での危機管理、保険について
12月15日(月)	留学に向けての英語勉強法 Let's Speak English! 実践英会話
1月28日(水)	APLA の取り組み カネシゲファームについて
2月 3日(火)	フィリピンの自然環境について フィリピンの歴史と社会 テーマ立案・作成
2月 6日(金)	TOEIC 試験
2月16日(月)	海外生活で気を付けること 最終荷物チェック

6. 海外研修・留学プログラムの成果報告(2025年度)

(1)カナダ短期語学研修(夏季7月)

研修期間	2025年6月30日から7月25日
研修内容	https://esl.ucalgary.ca/japanese/programs/intensive-program
研修後の報告	報告書提出 報告会開催:2025年12月26日
成果等の公表	研修先の成績、修了証明書、帰国報告会での発表をもとに、学内の教務委員会での審議に基づき、派遣学生1名に本学の「該当する外国語科目」の単位を認定しました。 また、報告会で参加者はプログラム内容や得られた成果などの経験を発表することで、新規に研修を希望する友人や後輩学生に対するサポート役として協力しています。

(2)カナダ短期語学研修(夏季8月)

研修期間	2025年8月5日から8月29日
研修内容	https://esl.ucalgary.ca/japanese/programs/intensive-program
研修後の報告	報告書提出 報告会開催:2025年12月19日
成果等の公表	研修先の成績、修了証明書、帰国報告会での発表をもとに、学内の教務委員会での審議に基づき、派遣学生3名に本学の「該当する外国語科目」の単位を認定しました。 また、報告会で参加者はプログラム内容や得られた成果などの経験を発表することで、新規に研修を希望する友人や後輩学生に対するサポート役として協力しています。

(3)マレーシア短期語学研修(夏季)

研修期間	2025年8月5日から2025年8月29日
研修内容	https://www.apu.edu.my/course/english-language-study/aplc-english-winter-spring-summer-camp
研修後の報告	報告書提出 報告会開催:2025年12月17日
成果等の公表	研修先の成績、修了証明書、帰国報告会での発表をもとに、学内の教務委員会での審議に基づき、派遣学生1名に本学の「該当する外国語科目」の単位を認定しました。 また、報告会で参加者はプログラム内容や得られた成果などの経験を発表することで、新規に研修を希望する友人や後輩学生に対するサポート役として協力しています。

(4)フィリピン短期語学研修(夏季)

研修期間	2025年8月4日から8月15日
研修内容	https://lslc.jp/course/esl/
研修後の報告	報告書提出 報告会開催:2025年12月17日
成果等の公表	研修先の成績、修了証明書、帰国報告会での発表をもとに、学内の教務委員会での審議に基づき、派遣学生1名に本学の「該当する外国語科目」の単位を認定しました。 また、報告会で参加者はプログラム内容や得られた成果などの経験を発表することで、新規に研修を希望する友人や後輩学生に対するサポート役として協力しています。

(5)韓国短期語学研修(夏季)

研修期間	2025年8月6日から8月22日
研修内容	https://iie.hanyang.ac.kr/front/short/introduce
研修後の報告	報告書提出 報告会開催:2025年12月17日
成果等の公表	研修先の成績、修了証明書、帰国報告会での発表をもとに、学内の教務委員会での審議に基づき、派遣学生1名に本学の「該当する外国語科目」の単位を認定しました。ほか1名については既に「該当する外国語科目」の単位を取得していることから、単位認定は行いません。 また、報告会で参加者はプログラム内容や得られた成果などの経験を発表することで、新規に研修を希望する友人や後輩学生に対するサポート役として協力しています。

(6)カナダ短期語学研修(春季)

研修期間	2026年2月17日から3月13日
研修内容	https://esl.ucalgary.ca/japanese/programs/intensive-program
研修後の報告	報告書提出(予定) 報告会開催:2026年7月(予定)
成果等の公表	今後プログラムを修了し帰国し次第、報告書提出、報告会を開催する予定です。また、その後研修先の成績、修了証明書などをもとに、学内の教務委員会での審議に基づき、派遣学生に本学の「該当する外国語科目」の単位を認定する予定です。

(7)フィリピン環境スタディツアー(春季)

研修期間	2026年2月21日から3月1日
研修内容	フィールドワーク(訪問先) - マングローブ林での生態系の観察や植樹活動 (NPO) - バナナ栽培や動物飼育による循環型農業の研修施設 (APLA) - カンラオン火山、MAMBUKAL 温泉の訪問
研修後の報告	報告書提出(予定) 報告会開催:2026年7月(予定)
成果等の公表	今後は報告書提出、報告会を開催する予定です。また、報告書および報告会の内容などをもとに、学内の教務委員会での審議に基づき、派遣学生4名に本学の「海外研修 I」の単位を認定する予定です。